

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演) 出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	C区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	5企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	とくていひえいりかつどうほうじんちゅうぶふるはーもにーこうきょうがくだん			団体ウェブサイトURL
	特定非営利活動法人 中部フィルハーモニー交響楽団			https://chubu-phil.com/
代表者職・氏名	理事長 永合 幹弥			
制作団体所在地	〒	485-0041	最寄り駅(バス停)	名鉄 小牧駅
	愛知県小牧市小牧二丁目107番地 小牧市市民会館内			
電話番号	0568-43-4333			
ふりがな 公演団体名	とくていひえいりかつどうほうじんちゅうぶふるはーもにーこうきょうがくだん			団体ウェブサイトURL
	特定非営利活動法人 中部フィルハーモニー交響楽団			https://chubu-phil.com/
代表者職・氏名	理事長 永合 幹弥			
公演団体所在地	〒	485-0041	最寄り駅(バス停)	名鉄 小牧駅
	愛知県小牧市小牧二丁目107番地 小牧市市民会館内			
制作団体 設立年月	2000年10月			
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	会長:西村義明 理事長:永合幹弥 常務理事:犬飼英雄ほか2名 常任理事:赤堀裕之史,岩田徹ほか4名 理事:稲山達也,志村美佐子ほか5名 監事:舟橋知生		芸術監督・首席指揮者:秋山和慶 首席客演指揮者:飯森範親 特別客演コンサートマスター:山口裕之 首席客演コンサートマスター:平光真彌 楽団員:43名(一般公募オーディションによる) 事務局:10名	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	演奏事業部長 岡田進司 演奏事業部 乾 光季	
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	事務局長 布藤和志	
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	info@chubu-phil.com			

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>2000年10月「小牧市交響楽団」として設立。現芸術監督・常任指揮者秋山和慶氏の協力のもとに活動を開始。2006年12月「中部フィルハーモニー管弦楽団」と改称。拠点は愛知県小牧市(人口15万人)で、県庁所在地ではない地方都市を本拠地とする、全国的にも例の少ないオーケストラ。小牧市、地元企業などの支援を受け、市内の幼稚園・保育園から中学校まで、毎年音楽鑑賞会を実施。地域文化の発展に寄与するとともに、名古屋市、岐阜市、松阪市(三重県)などで定期的に公演を行い、活動の範囲を中部地方一円まで広げている。</p> <p>2009年2月、愛知県芸術選奨文化新人賞受賞。2015年5月、創立15周年を記念し、マーラー:交響曲第2番「復活」を秋山和慶氏の指揮で演奏し、高い評価を得る。2018年より、NAGOYAシリーズ3回、KOMAKIシリーズ2回、計5回の定期演奏会を、2021年からはKOMAKIシリーズを3回に増やし、2024年からは新たな試みとして室内楽シリーズを開催するなど、特別公演を含む年間13回の自主公演を行っている。</p> <p>2021年、コロナ禍で延期されていた創立20周年記念コンサートを秋山和慶氏の指揮で開催、成功に導いた。</p> <p>2024年では映像にまつわる音楽に特化したコンサートを行うことを目的とした「Chubuフィルム・サウンズオーケストラ」を指揮者の竹本泰蔵氏と立ち上げ、2024年8月に行った旗揚げ公演では大盛況を収めた。</p> <p>現在、秋山和慶氏を芸術監督・常任指揮者、飯森範親氏を首席客演指揮者、竹本泰蔵氏をChubuフィルム・サウンズ・オーケストラ指揮者におき、活動を続けている。</p>					
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>■小牧市内音楽教室(2000年度～) 2年～3年で全園・全校を巡回 幼稚園・保育園…32園 小学校…16校 中学校…9校</p> <p>■文化庁学校公演 平成21年度～平成30年度…「巡回公演」 令和2年度～令和5年度…「巡回公演」 令和2年度…「創出事業」 令和3年度…「体験支援事業」 令和4年度…「体験再興事業」 令和5年度…「巡回公演」 令和6年度…「巡回公演」</p>					
<p>特別支援学校等における 公演実績</p>	<p>文化庁「子供のための巡回公演」による実績</p> <p>平成22年度 ①岩手県立盛岡みたけ支援学校 ②北海道立白糖養護学校</p> <p>平成23年度 鹿児島県立鹿児島聾学校</p> <p>平成29年度 滋賀県立三雲養護学校</p> <p>令和3年度 三重県立松阪あゆみ特別支援学校 ※コロナ禍により、配信公演として実施</p>					
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>				
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/MIOqSyRp8DE</p>				
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td>ID:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:	
ID:						
PW:						

別添	あり
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 特定非営利活動法人 中部フィルハーモニー交響楽団】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○

企画名	「あつという間のオーケストラ・コンサート！」
-----	------------------------

企画のねらい	<p>この公演の1番の狙いは、オーケストラをただ聴くだけではなく、様々な体験をすることにより、児童・生徒がオーケストラについて身近に感じて興味を持ち、一緒に参加しながら音楽を楽しみながら、学んでいくことです。子供たちにとって90分は長い時間かもしれませんが、この演奏会は「あつという間だった」、「もう少し聴きたかったな」と言ってもらえると自負しております。</p> <p>聴いているだけではなく、一緒に体験もしていただく工夫をしております。</p> <p>オーケストラは普段あまり身近な存在ではないかもしれませんが、本来は身近なものであること、そして私たちが音楽を全力で演奏する姿を子供たちに見せ、一緒に楽しみながら学び、オーケストラがどのようなことをしているのか、どのような可能性を秘めているのかを伝え、オーケストラをより身近に感じ、想像力を高め、他者とのコミュニケーションを高めること、そして理解しあい楽しむことがこの企画のねらいです。</p>
--------	--

演目概要・演目選択理由	<p>ロッシーニ：歌劇「シンデレラ」序曲より とても有名な童話「シンデレラ」。様々なジャンルで使用される物語であり、歌劇の最初に演奏するこの序曲はコンサートのオープニングに相応しい楽曲です。</p> <p>アンダーソン：ジャズ・ピチカート 楽器紹介がすべて終わった後に弦楽器のみの演奏を聴いていただけます。ピチカートという奏法にも注目し、弦楽器についてより興味を持ってもらえるよう、明るくカッコ良いと思える曲を選びました。</p> <p>イェッセル：おもちゃの兵隊のマーチ 今度は管楽器や打楽器が活躍する曲です。キューピー3分クッキングで使用され、児童・生徒に馴染みやすい楽曲です。</p> <p>オーケストラの中で聴いてみよう ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」第1楽章 交響曲ではもちろんのこと、あらゆるクラシック音楽の中で最も有名といってもいい名曲です。ジャジャジャジャーの動機を繰り返し見つける楽しさを間近で体験できます。普段見られない指揮者の表情や、楽員たちの視線にも興味がわきます。</p> <p>ホルスト：「セントポール組曲」より「終曲」 ホルストがセントポール女学校の音楽教員時代、生徒たちのために作曲しました。どこかで聞いたことのある旋律「グリーンズリーブスの主題」が使われていて、親しみやすい楽曲です。</p> <p>指揮者体験コーナー ブラームス：ハンガリー舞曲第5番 緩急のある作品であり、指揮者体験をするにあたり、最も児童生徒が自由にテンポを作ることができ、また、指揮する人による違いが分かり易い曲です。</p> <p>生き物クイズコーナー 音楽の持つ表現力の豊かさを感じ取ります。3つの大きなイラストを用意し、正解の生き物を当てるクイズコーナー。選択したものが間違っていたとしても、想像力をはたらかせ自分自身で感じ取ることとはとても大事であることを伝えます。</p> <p>・リムスキー＝コルサコフ：熊蜂の飛行 熊蜂の翅音、飛んでいるときの動作を曲中に見つけることができます。</p> <p>・アンダーソン：踊る子猫 ヴァイオリンのまるで猫の鳴き声の様な音を聴いて探すことができます。</p> <p>・マンシーニ：小象の行進 元気いっぱい明るい楽曲の中にホルンが象の鳴き声を真似ます。</p> <p>メンデルスゾーン：交響曲第4番より「第1楽章」 プログラムのメインは交響曲を演奏する交響楽団ならではの選曲にしました。このメンデルスゾーンの交響曲第4番は躍動的で明るく光り輝くイタリアの海の水面を表現していると言われる作品です。ドイツ人であるメンデルスゾーンがイタリア旅行に行った際に感銘を受けて書いたこの作品、書いた情景や情勢も演奏前に児童・生徒に説明してからより表敬を思い浮かべやすくなる工夫をして演奏します。</p>
-------------	---

<p>児童・生徒の参加又は体験の形態</p>	<p>オーケストラの中で聴いてみよう 指揮者体験コーナー クイズコーナー 楽器体験コーナー 校歌をオーケストラ伴奏で斉唱</p>		
<p>児童・生徒の参加可能人数</p>	<p>本公演</p>	<p>参加・体験人数目安</p>	<p>学校の希望に沿います</p>
		<p>鑑賞人数目安</p>	<p>学校の希望に沿います</p>
<p>本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付</p>	<p>1. ロッシーニ: 歌劇「シンデレラ」序曲より 2. 各楽器紹介 10' 3. アンダーソン: ジャズ・ピチカート 5' 4. イエッセル: おもちゃの兵隊のマーチ 3' 5. オーケストラの中で聴いてみよう 7' ベートーヴェン: 交響曲第5番「運命」第1楽章 休憩 20min (楽器体験あり) 6. ホルスト: セントポール組より終曲 3' 6. 指揮者体験コーナー 10' ブラームス: ハンガリー舞曲第5番 7. 生き物クイズクイズコーナー 10' リムスキー=ニコルサコフ: 熊蜂の飛行・アンダーソン: 踊る子猫・マンシーニ: 小象の行進 8. メンデルスゾーン: 交響曲第4番より第1楽章 8' 9. 校歌 En, バロックホーダウン</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>		
<p>出演者</p>	<p>指揮/鈴木織衛 or 碓山隆一郎 or 松井慶太 or 坂入健司郎 or 喜古恵理香 ソプラノ/司会/奥村育子 or 加藤恵理子 or 酒井和音 管弦楽/中部フィルハーモニー交響楽団 4型2管編成 弦: 4-3-3-2-2 木管: 2-2-2-2 金管: 2-2-1-1 打楽器: Timp+2</p>		
<p>演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名</p>	<p>【指揮者 鈴木織衛】東京藝術大学指揮科、同大学院卒。遠藤雅古、松尾葉子両氏に師事。藝大在学中にピアニストとしてデビュー。その後は、日本屈指のオペラ団体・二期会において、数々の作品に指揮者、合唱指揮者、コレペティとして参加。また、斉田正子、錦織健氏など人気声楽家とも多数共演する。 【指揮者 碓山隆一郎】鹿児島県喜界島初の指揮者。東京音楽大学指揮科を卒業後、渡独。マンハイム音楽大学においてオーケストラ指揮、ダルムシュタット音楽アカデミーでは合唱指揮を学ぶ。2018年にはヴィルヘルム・ペーターゼン協会主催オペラ「黄金の壺」を指揮した。 【指揮者 松井慶太】1984年青森県八戸市生まれ。2007年、東京音楽大学指揮科卒業。指揮を広上淳一、汐澤安彦に師事。2009年、第15回東京国際音楽コンクール入賞・奨励賞受賞。2022年9月よりオーケストラ・アンサンブル金沢コンダクターに就任。2023年4月より東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)特任講師。 【指揮者 坂入健司郎】神奈川県川崎市出身。慶應義塾大学経済学部卒業。13歳の時に初めて指揮台に立つ。指揮を三河正典、山本七雄の各氏に、チェロを望月直哉氏に師事。また、指揮講習会等を通じてV.フェドセーエフ、飯守泰次郎、井上道義、井上喜惟、小林研一郎各氏の下で研鑽を積んだ。 【指揮者 喜古恵理香】東京音楽大学音楽学部作曲指揮専攻(指揮)及び同大学大学院指揮研究領域に学ぶ。これまでに指揮を広上淳一、汐澤安彦、下野竜也、田代俊文、三河正典の各氏に師事。2022年、次世代指揮者アカデミー&コンクール第3位およびオーケストラ賞受賞。</p>		
<p>本公演従事予定者数(1公演あたり) ※ドライバー等訪問する業者人数含む</p>	<p>出演者: 33 名 スタッフ: 11 名 合 計: 44 名</p>	<p>運搬</p>	<p>積載量: 2t 2t 車 長: 4t 8.95 m 2t 6.43 m 台 数: 計 2 台</p>

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	8:30	8:30～10:00		13:30～15:00	20	15:00～16:30	16時30分
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。						
本公演 実施可能日数目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月		7月		8月		9月
	7日		8日		0日		4日
	10月		11月		12月		1月
	12日		10日		4日		12日
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		57日
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真) <small>※採択決定後、図面等の提出をお願いします。</small>			指揮者体験 プロの指揮者が、指揮の振り方をレクチャー！みんなで練習しよう！				
			動物クイズコーナー ○× この曲が表現している動物は何か？想像力を膨らましてみよう！				
			楽器体験コーナー オーケストラの楽器を体験してみよう！				
			オーケストラの中で聴いてみようコーナー オーケストラ奏者の隣で大迫力の演奏を！				
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続きの要否		該当なし		該当コンテンツ名		
	該当事項がある場合	権利者名			許諾確認状況		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	あり		
【公演団体名 特定非営利活動法人 中部フィルハーモニー交響楽団】			
ワークショップのねらい	<p>本公演の前に行うワークショップの1番狙いは、本公演に対する、興味関心を深めることです。この企画内容には、音楽以外の要素がたくさん入っています。</p> <p>なぜなら、音楽に興味がない児童・生徒もいるので、その様な対象の子供に対し音楽を押し付けるのではなく、別のアングルからアプローチをして音楽への興味の入口を作ります。</p> <p>(実験コーナーでは理科の要素、ヴァイオリン大解剖バラバラヴァイオリンでは技術の要素、世界地図で見る音楽家と音楽では地理)</p> <p>様々な教科と音楽は結びつけることができる可能性を持っていること、その先にある興味や発見を当団の演奏者と共に探していくことができる内容です。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	学校の希望に沿います
ワークショップ実施形態及び内容	<p>1. オーケストラについて 30min オーケストラとは何なのか、オーケストラで使用される楽器について説明します。 楽器はグループに分かれていること、人と同じで1人1人個性があるように、1つ1つの楽器の発音方法や、材質による個性があることを紹介していきます。 一番大きな楽器のコントラバスと、一番小さな楽器のピッコロの原寸大タープを用意し、視覚的にも楽しめる工夫があります。 ワorkshopメンバーのソロ演奏もお聴きいただきます。</p> <p>2. 実験コーナー 15min 【材質による音の伝わり方の実験】 楽器の紹介が終わったところで、材質によって音が本当に変わるのか実験。 実験① ホースホルン、ホーストランペットのベルを紙コップ、プラスチック、木材など様々な素材を付けて聴き比べをします。ホースの長さも変えて、長くなるとうどう変化するのか聞き比べます。 実験② 4種類の素材の違う糸電話を使用して、聴き比べ。紙コップとタコ糸、プラカップとタコ糸、紙コップと針金、紙コップとガット弦どの糸電話が一番聞こえるのか、素材によって変わるのか実験します。 そしてそれはなぜなのか検証します。</p> <p>3. ヴァイオリン大解剖・バラバラヴァイオリンを見てみよう 10min ヴァイオリンはどのように作られているのか、どのような部品があり楽器が出来上がっているのか、組み立ててニス塗る前の状態を見せて楽器に対する興味を引き出します。</p> <p>4. 世界地図で見る音楽家と音楽 15min 世界地図で本公演に演奏する作曲家や曲のルーツについて説明していきます。大きな地球儀を使ってとても遠くの国からクラシック音楽がやってきたことや、ヨーロッパの拡大地図を使って、ヨーロッパの国々がいかに密集していて、音楽も影響しあっていたことをお教えします。 地図を指しながら、本公演の曲目のさわりの部分を演奏し、本公演への興味を促します。</p> <p>5. 質問コーナー 10min プロの演奏家になんでも質問できるコーナーで、演奏者との会話により、よりオーケストラを身近に感じることができます。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>特別支援学校等の場合は、当該校の特性に合わせて構成を変えたり、学年を限定するなど、柔軟な対応が可能です。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名 特定非営利活動法人 中部フィルハーモニー交響楽団】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>繊細かつ力強いオーケストラの魅力を、生で聴いて感じてほしい、そして演奏者、スタッフと共に体験して楽しんでほしいという願いを込めてプログラムを組みました。 感受性豊かな子供たちの感性を刺激し、クラシック音楽というジャンルは堅苦しいものでも、遠い世界のものでもないことを知ってほしいと思っています。 全力で好きなことを仕事にしている大人がいるという事を、オーケストラの音楽を通じて子供たちに伝え、更に音楽が好きになってもらえるように努力を惜しみません。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>本来の鑑賞会ですと、子供たちにとって本公演は決して短い時間ではなく、集中力がきれたり興味関心がなくなることがあるかもしれません。実際に体験する場を多く提供し、飽きさせず、あっという間に楽しい時間が終わったね、と感じて頂けるよう以下の様な進行で演奏会を進めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ワークショップでの説明を思い出す司会進行 ●プリントで見るとよりも実物を見やすいように段組みをする ●指揮者体験コーナーでは代表者だけではなく、最初に全児童生徒にレクチャーをする ●客席からでは感じることのできない間近での鑑賞を経験させる(オーケストラの中で聴いてみよう) ●実際に楽器に触れて経験を(楽器体験コーナー) ●オーケストラと一緒に楽しむ工夫をする(共演コーナー) ●クイズでは3択のパネルを用いて視覚的にも楽しいものにする ●メインの楽曲の作曲された情景を教え、出てくるモチーフなどを事前に解説することで興味を促す(メンデルスゾーン交響曲第4番第1楽章楽曲説明) <p>公演前には必ず下見に伺い、先生方と綿密な打ち合わせを行うことで、セッティング～リハーサル～児童入場～公演～退場、バラシまで、円滑に進められるよう、配慮しています。 また、共演コーナー(合唱共演、ご当地共演)が学校様の負担にならないよう臨機応変に対応します。</p>
--	--

別添	なし
----	----

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名 特定非営利活動法人 中部フィルハーモニー交響楽団】

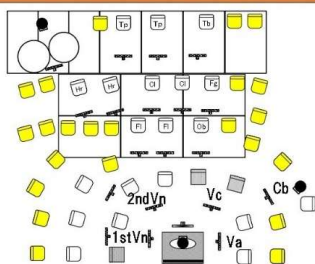
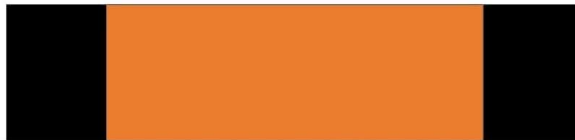
<p>C区分で事業を実施するに当たっての工夫</p>	<p>①離島・へき地等における公演実績 2011/12/21鹿児島県熊毛郡屋久島町立八幡小学校 2012/12/4宮城県柴田郡村田町立村田第二中学校 2013/1/21秋田県男鹿市男鹿市立北陽小学校 2013/11/13高知県高岡郡佐川町立佐川小学校 2015/10/13長崎県壱岐市壱岐市立石田小学校 2015/10/14長崎県対馬市対馬市立美津島北部小学校 2016/9/27島根県江津市江津市立高角小学校 2017/7/6奈良県奈良市十津川村立十津川第一小学校 2018/11/12山梨県上野原市上野原市立秋山小学校 2020/10/23愛知県知多郡美浜町立河和南部小学校 2021/11/9京都府京丹後市京丹後市立網野南小学校 2022/11/17秋田県北秋田市北秋田市立阿仁合小学校 2024/9/11佐渡市立河原田小学校 2024/9/12佐渡市立前浜小学校</p> <p>②離島やへき地等の地理的に特殊事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫 公共交通機関がない場所や、大型バスが入れない土地にはマイクロバスを使用、その土地の先生方の意見を参考にさせて頂き、現地に迷惑をかけない事前準備を怠りません。 フルオーケストラとは違った魅力を最大限に伝えるべく以下の様な準備をします。 ●当団専属のアレンジャーによる編曲で楽曲の質を保つ ●段組みを都度行い、立体的なサウンドを提供する</p> <p>③C区分応募における、費用面の工夫 出演料を押さえるべく最小限の編成でオーケストラのサウンドを提供します。 体育館にある設備とオーケストラにあるものを工夫して体育館公演の環境を整えます。 必要最小限のスタッフで随行します。</p>
----------------------------	--

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先 No.2

【公演団体名 特定非営利活動法人 中部フィルハーモニー交響楽団】

オーケストラの中で聴いてみよう！



・黄色で塗りつぶしの椅子が児童・生徒に座っていただく場所です。
 ・図面上は23人ですが、人数を増やすことも可能です。

Chubu Philharmonic Orchestra

項目内容



オーケストラの段組み
 一番後ろの児童・生徒
 にも楽器が見える＆音
 が立体的になる工夫を
 しています！



別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先 No.3

【公演団体名 特定非営利活動法人 中部フィルハーモニー交響楽団】

項目内容



ワークショップ

実験コーナー

ホースとジョウゴで作った楽器、ベルを変えると、どんな音が鳴るのかを聴き比べ！



ワークショップ

実験コーナー

色々な材質で作った糸電話を聴き比べ！



ワークショップ配布

プリントの画像

ヴァイオリン大解剖・バラバラヴァイオリンの弓の部分は、制作過程の写真をプリントに載せてわかりやすくお話しします。